

静岡県内政令指定都市の消費者物価指数の動き

令和3年平均総合指数（前年比）静岡市2年連続下落，浜松市2年ぶり上昇

デジタル戦略局 統計調査課

県内政令指定都市（静岡市及び浜松市）の消費者物価指数について、平成24年から令和3年までの年平均の推移、令和3年の10大費目別指数の前年比及び月別の動きを紹介します。

消費者物価指数とは、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格等を総合した物価の変動を時系列的に明らかにするものです。

1 静岡市消費者物価指数

静岡市の令和3年平均の消費者物価指数は、令和2（2020）年を100とした総合指数が99.1となり、前年と比べ0.9%の下落で、2年連続の下落となった。

天候により値動きが大きく左右する生鮮食品を除く総合指数は99.2となり、前年と比べ0.8%の下落で、こちらも2年連続の下落となった。

生鮮食品と原油価格などの対外的な影響を大きく受けるエネルギーを除いた生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は98.9となり、前年と比べ1.1%の下落となった。

(1) 年平均の推移

総合指数は、平成26年4月に消費税率が5%から8%に改定されたことなどにより前年比2.8%と大幅に上昇した（消費者物価指数は消費税分を含めた消費者が実際に支払う価格を用いて作成している）。平成28年は原油や液化天然ガスの輸入価格安に伴い、ガソリンなどのエネルギー関連品目が下落し、マイナスに転じた。平成29年、平成30年は原油高を背景にガソリンや電気代などのエネルギー関連品目が上昇した。

令和元年10月に消費税率が8%から10%となる改定が行われたが、飲食料品への軽減税率の適用や幼児教育・保育の無償化の実施により影響は軽微なものとなった。令和2年は、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界経済の減速懸念を背景とした原油安に伴い電気代やガソリンなどが下落した一方で、「巣ごもり需要」による生鮮野菜などの上昇がみられ、夏以降は「GoToトラベル事業」により宿泊料が下落した。令和3年は、4月に大手通信各社の携帯電話の通信料が大幅に値下げされたことにより、年間を通じて下落となった（令和3年7月分から公表の2020年基準改定において、携帯電話通信料の指数における比重（ウェイト）が高まっている）。

図1 静岡市消費者物価指数の推移

（2020年=100）

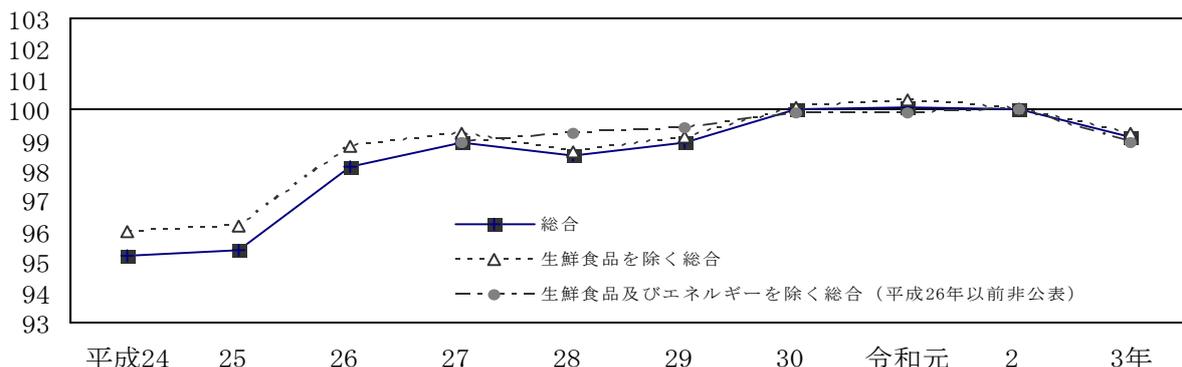


図2 静岡市消費者物価指数の前年比の推移

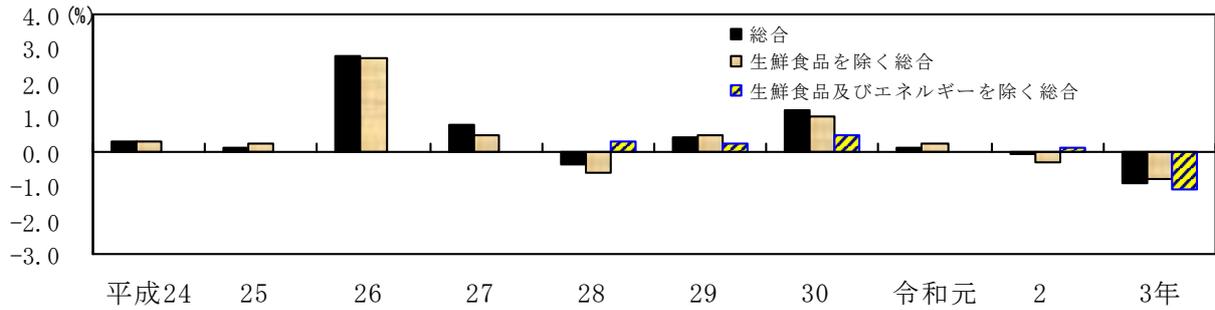


表1 静岡市消費者物価指数及び前年比 (2020年=100)

平成		24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年
総合	指数	95.2	95.4	98.1	98.9	98.5	98.9	100.0	100.1	100.0	99.1
	前年比(%)	0.3	0.1	2.8	0.8	-0.4	0.4	1.2	0.1	-0.1	-0.9
生鮮食品を除く総合	指数	96.0	96.2	98.8	99.2	98.6	99.1	100.1	100.3	100.0	99.2
	前年比(%)	0.3	0.2	2.7	0.5	-0.6	0.5	1.0	0.2	-0.3	-0.8
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	指数	-	-	-	98.9	99.2	99.4	99.9	99.9	100.0	98.9
	前年比(%)	-	-	-	-	0.3	0.2	0.5	0.0	0.1	-1.1

(2) 10大費目別指数の前年比

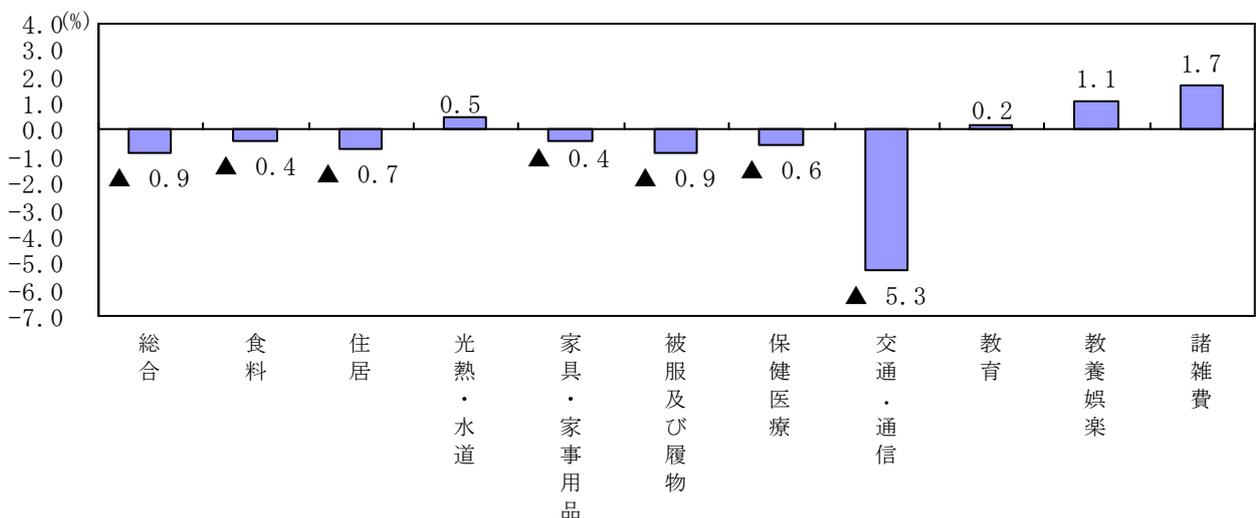
令和3年平均の10大費目別指数の前年比を見ると、交通・通信が携帯電話の通信料の大幅な値下げなどで前年比5.3%の下落となった。

一方で、たばこなどの諸雑費及び宿泊料などの教養娯楽は、前年比プラスとなった。

表2 静岡市消費者物価指数の令和3年10大費目別指数、前年比及び寄与度 (2020年=100)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	99.1	99.6	99.3	100.5	99.6	99.1	99.4	94.7	100.2	101.1	101.7
前年比(%)	-0.9	-0.4	-0.7	0.5	-0.4	-0.9	-0.6	-5.3	0.2	1.1	1.7
寄与度	-	-0.11	-0.14	0.04	-0.01	-0.03	-0.03	-0.79	0.01	0.10	0.11

図3 静岡市消費者物価指数の10大費目別指数の前年比



(3) 令和3年の月別の動き

令和2（2020）年を100とした総合指数及び生鮮食品を除く総合指数の前年同月比は、4月に下落幅が最も大きく年間を通じて下落傾向であったが、電気代などのエネルギー関連の上昇を受け、12月はプラスに転じている。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数については、年間を通じてマイナスとなった。

図4 静岡市消費者物価指数の前年同月比の動き

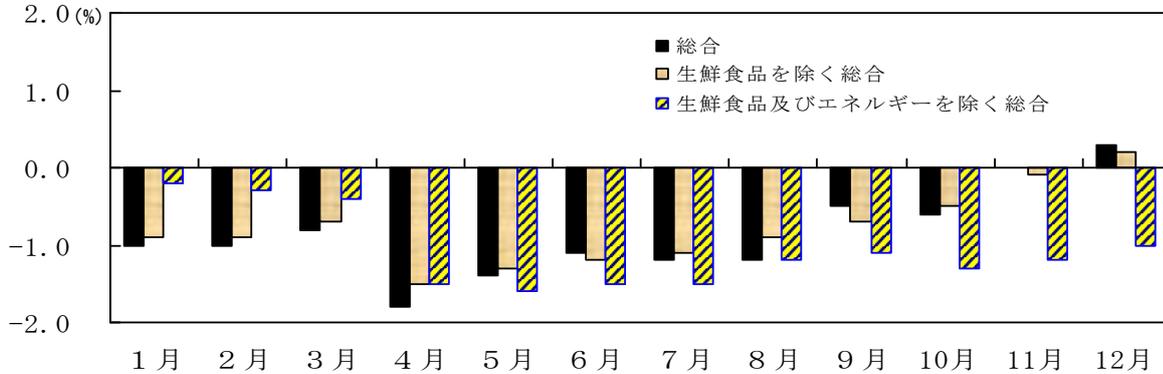


表3 令和3年静岡市消費者物価指数の月別推移

(2020年=100)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合	指数	99.5	99.2	99.3	98.4	98.7	99.0	99.0	99.1	99.5	99.4	99.4	99.2
	前年同月比 (%)	-1.0	-1.0	-0.8	-1.8	-1.4	-1.1	-1.2	-1.2	-0.5	-0.6	0.0	0.3
	前月比 (%)	0.6	-0.3	0.1	-0.9	0.3	0.2	0.0	0.1	0.4	-0.1	-0.1	-0.1
生鮮食品を除く総合	指数	99.5	99.4	99.5	98.6	98.9	98.9	99.0	99.1	99.2	99.4	99.5	99.4
	前年同月比 (%)	-0.9	-0.9	-0.7	-1.5	-1.3	-1.2	-1.1	-0.9	-0.7	-0.5	-0.1	0.2
	前月比 (%)	0.3	-0.1	0.1	-0.9	0.3	0.0	0.2	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	指数	99.9	99.8	99.7	98.6	98.7	98.6	98.7	98.7	98.7	98.7	98.7	98.6
	前年同月比 (%)	-0.2	-0.3	-0.4	-1.5	-1.6	-1.5	-1.5	-1.2	-1.1	-1.3	-1.2	-1.0
	前月比 (%)	0.3	-0.2	0.0	-1.2	0.1	-0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	-0.1	-0.1

2 浜松市消費者物価指数

浜松市の令和3年平均の消費者物価指数は、総合指数が100.2となり、前年と比べ0.2%上昇し、2年ぶりの上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は100.2となり、前年と比べ0.2%の上昇でこちらも2年ぶりの上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は99.9で、前年と比べ0.1%の下落となり平成27年の公表開始以来初めて下落となった。

(1) 年平均の推移

総合指数の前年比は、静岡市と同様、平成26年の消費税率の改定などの影響で大幅に上昇し、平成28年は原油安などで下落したものの、平成29年、30年ではエネルギー関連品目の上昇などに伴いプラスとなった。令和元年は消費税率の改定や幼児教育・保育の無償化により上昇幅は縮小した。令和2年は新型コロナウイルス感染症による影響などで、令和3年は携帯電話の通信料の値下げや住居費の上昇により0.0%前後で推移している。

図5 浜松市消費者物価指数の推移

(2020年=100)

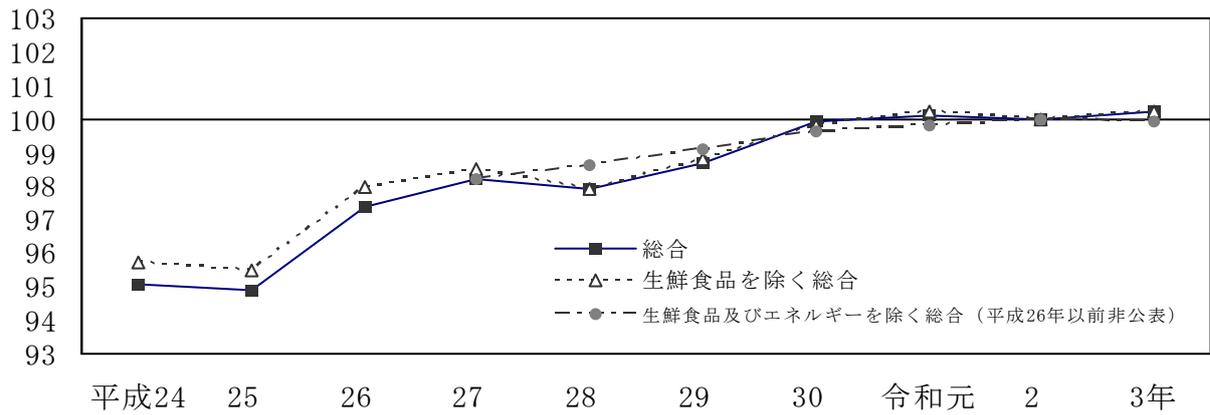


図6 浜松市消費者物価指数の前年比の推移

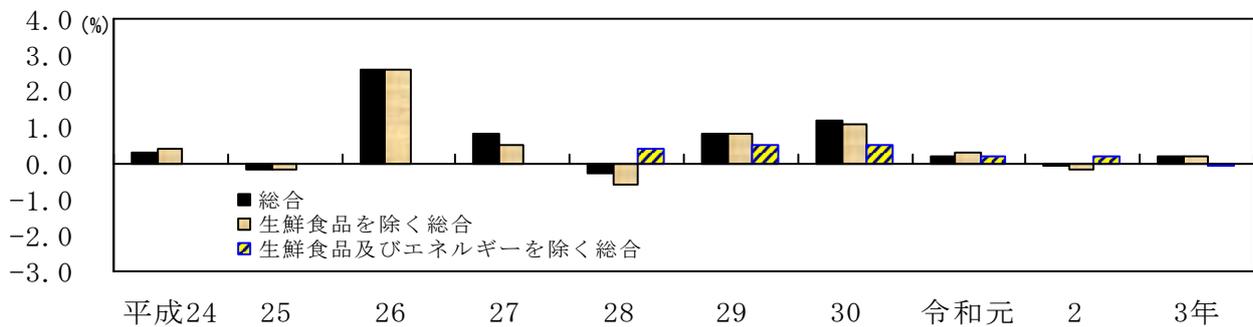


表4 浜松市消費者物価指数及び前年比

(2020年=100)

		平成	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年
総合	指数	95.1	94.9	97.4	98.2	97.9	98.7	99.9	100.1	100.0	100.2	
	前年比(%)	0.3	-0.2	2.6	0.8	-0.3	0.8	1.2	0.2	-0.1	0.2	
生鮮食品を除く総合	指数	95.7	95.5	98.0	98.5	97.9	98.8	99.8	100.2	100.0	100.2	
	前年比(%)	0.4	-0.2	2.6	0.5	-0.6	0.8	1.1	0.3	-0.2	0.2	
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	指数	-	-	-	98.2	98.6	99.1	99.6	99.8	100.0	99.9	
	前年比(%)	-	-	-	-	0.4	0.5	0.5	0.2	0.2	-0.1	

(2) 10大費目別指数の前年比

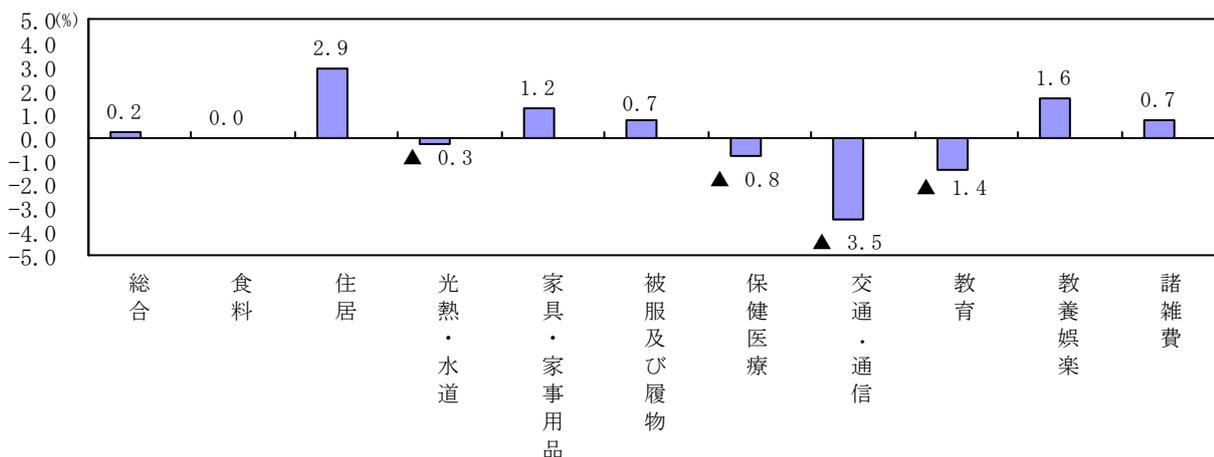
令和3年平均の10大費目別指数の前年比をみると、**交通・通信**が携帯電話の通信料の値下がりにより3.5%下落している。また、授業料などの**教育**についても下落となった。

また、民営家賃などの**住居**や宿泊料などの**教養娯楽**では、前年比プラスとなった。

表5 浜松市消費者物価指数の令和3年10大費目別指数、前年比及び寄与度 (2020年=100)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	100.2	100.0	102.9	99.7	101.2	100.7	99.2	96.5	98.6	101.6	100.7
前年比(%)	0.2	0.0	2.9	-0.3	1.2	0.7	-0.8	-3.5	-1.4	1.6	0.7
寄与度	-	0.01	0.59	-0.02	0.05	0.02	-0.04	-0.57	-0.03	0.14	0.04

図7 浜松市消費者物価指数の10大費目別指数の前年比



(3) 令和3年の月別の動き

令和2（2020）年を100とした総合指数の対前年同月比は、9月以降上昇し、上昇幅は拡大している。

生鮮食品を除く総合指数も、前年同月と比べ、7月以降上昇している。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数については、前年同月と比べ、4月以降マイナスで推移している。

図8 浜松市消費者物価指数の前年同月比の動き

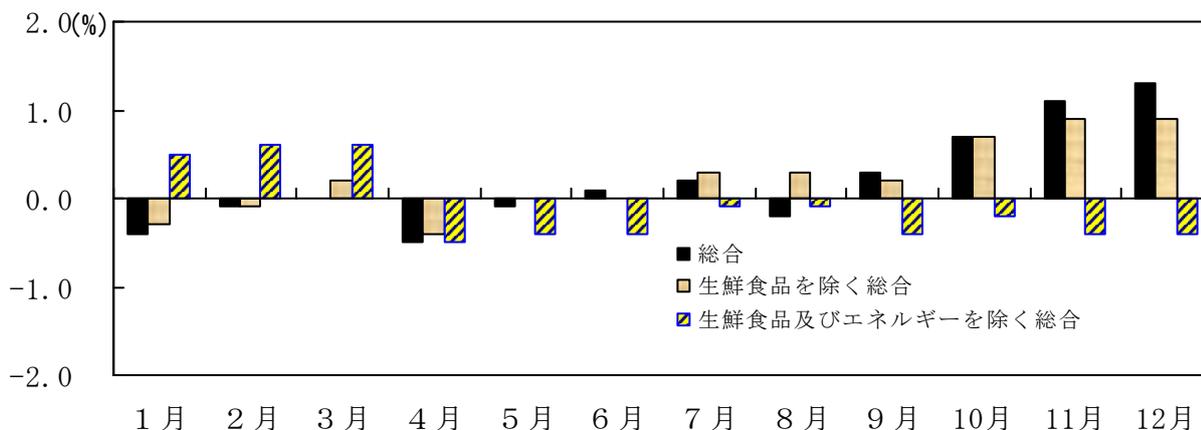


表6 令和3年浜松市消費者物価指数の月別推移

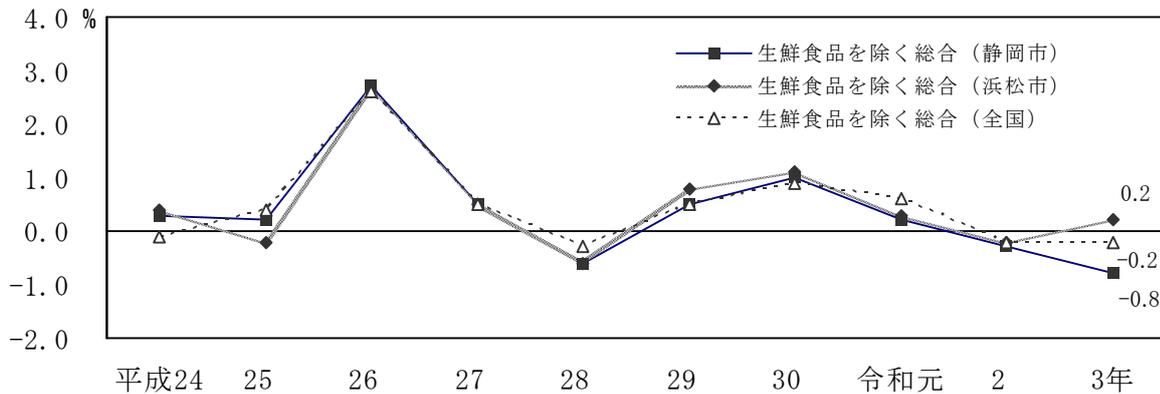
(2020年=100)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合	指数	100.1	100.1	100.2	99.4	99.8	99.9	100.1	100.2	100.5	100.6	100.8	100.6
	前年同月比 (%)	-0.4	-0.1	0.0	-0.5	-0.1	0.1	0.2	-0.2	0.3	0.7	1.1	1.3
	前月比 (%)	0.9	0.0	0.0	-0.7	0.4	0.0	0.3	0.0	0.3	0.2	0.2	-0.2
生鮮食品を除く総合	指数	100.1	100.3	100.4	99.5	99.9	99.9	100.2	100.3	100.2	100.6	100.7	100.6
	前年同月比 (%)	-0.3	-0.1	0.2	-0.4	0.0	0.0	0.3	0.3	0.2	0.7	0.9	0.9
	前月比 (%)	0.5	0.1	0.1	-0.8	0.4	0.0	0.3	0.1	-0.1	0.4	0.2	-0.1
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	指数	100.6	100.6	100.5	99.4	99.7	99.5	99.8	99.9	99.6	99.8	99.8	99.6
	前年同月比 (%)	0.5	0.6	0.6	-0.5	-0.4	-0.4	-0.1	-0.1	-0.4	-0.2	-0.4	-0.4
	前月比 (%)	0.5	0.0	-0.1	-1.1	0.2	-0.1	0.3	0.1	-0.3	0.2	-0.1	-0.1

3 静岡市、浜松市、全国の生鮮食品を除く総合（前年比）の消費者物価指数（参考）

消費者物価の基調をみるために、天候要因などによる値動きの激しい生鮮食品を除いた総合指数である「生鮮食品を除く総合指数」について、全国と比較すると、令和3年は、前年比で、静岡市が0.8%の下落、浜松市が0.2%の上昇、全国が0.2%の下落となった。

図9 静岡市、浜松市、全国の生鮮食品を除く総合（前年比）の推移（参考）
(2020年=100)

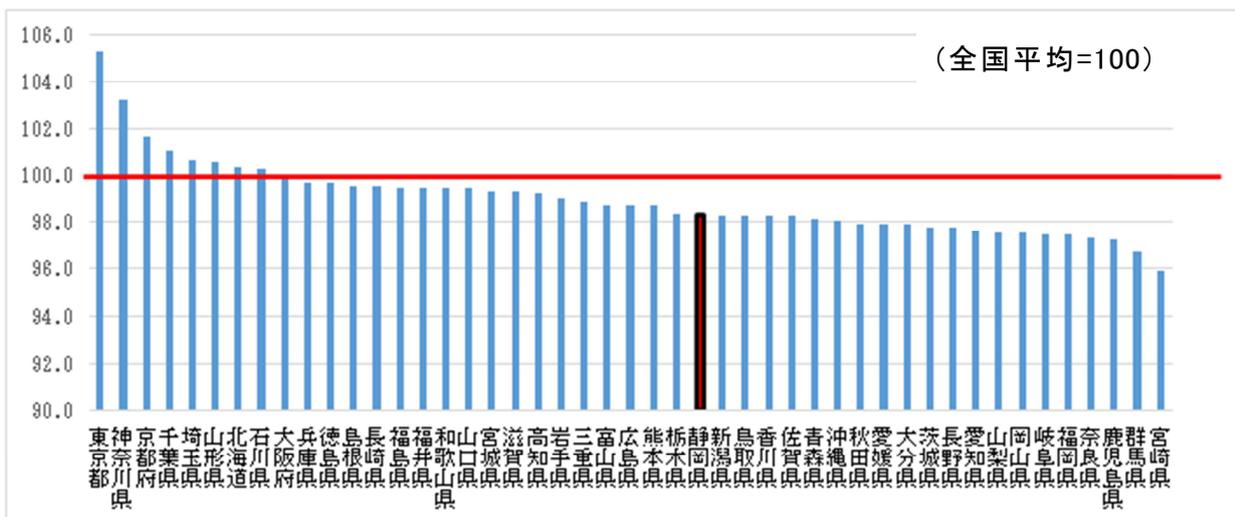


< コラム 静岡県の物価水準 >

小売物価統計調査では物価構造の変化を把握するため、調査内容等の拡充を行い「構造編」と位置付け、平成25年から調査を行っています。

「構造編」のうち、地域間の物価水準の違いをみることを目的として、各地域の物価水準を全国の物価水準を100とした指数値で示したものを「消費者物価地域差指数」といいます。

○ 令和2（2020）年消費者物価地域差指数（総合）



令和2年では、静岡県は栃木県と並び、総合指数は98.3で物価水準の高い方からみて26位です。最近5年間の順位の推移をみると29位（令和元年）、29位（平成30年）、32位（平成29年）、37位（平成28年）、35位（平成27年）となっています。